

**本田圭佑氏が総合エンターテック企業 playground のアンバサダーに就任  
KSK Angel Fund を引受先とした第三者割当増資による資金調達を実施  
～日本国内外のスポーツ・エンターテインメント業界のデジタル化を推進～**

総合エンターテック企業の playground 株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：伊藤圭史、以下 playground）は、プロサッカー選手の本田圭佑氏が手がける個人ファンド「KSK Angel Fund LLC」を引受先とした第三者割当増資による資金調達を実施します。また、本田圭佑氏をアンバサダーに迎え、日本国内にとどまらず、全世界のスポーツ・エンターテインメント業界のデジタル化を推進してまいります。



（左：playground 代表取締役 伊藤圭史 右：プロサッカー選手 本田圭佑氏）

**■ 本田圭佑氏が出資する総合エンターテック企業 playground とは**

playground は、リアルイベントにデジタル革命を起こすために、「エンターテインメントにデジタル技術を持ち込み、100万人が熱狂するリアルイベントを開催できる世界を実現すること」を Mission に掲げて、2017年6月に設立いたしました。スポーツ・エンターテインメント業界の発展にはデジタルの活用は不可欠です。総合エンターテック企業として、スポーツ・エンターテインメント業界が適正な収益を確保し、「ライブをもっと面白くすること」により多くの投資がかけられる世界を目指しています。

自社サービスである「MOALA(β版)」は、ライブの来場前・中・後にデジタルサービスを提供することでライブの魅力・体験価値を向上させる、コネクテッドスタジアムプラットフォームです。サービス開始から多くのイベントで活用され、2年間で15,000件以上のイベントで採用されています。

さらに、今年4月には、エンターテックに特化したコンサルティング・SI事業を立ち上げました。デジタル推進に悩む興行主や業界関係者に対して、システム提供にとどまらず、人的観点でも支援を開始し、業界各所から大きな反響をいただいています。

## ■ 本田圭佑氏がアンバサダーに就任、世界のスポーツ・エンターテインメント業界をデジタル化

この度の資金調達を受け、サッカーカンボジア代表の実質的な監督にも就任している本田圭佑氏が playground のアンバサダーに就任いたしました。今後は、日本国内だけでなく、全世界のスポーツ・エンターテインメント業界のデジタル化を推進してまいります。

### <本田圭佑氏からのコメント>



サッカーでも、まだまだ紙のチケットで入場することが多いようですし、その仕組みは何十年も変わっていないと聞いています。playground 社は、単にチケットのデジタル化を推進できるだけでなく、デジタルによって、ファンへの利便性の向上、不正コピー防止、物販などの付加価値提供が可能になります。スポーツだけでなく、エンタメ業界でも、ファンや選手、アーティストをより大事にし、業界の発展に大きく貢献できるサービスを作っている playground を応援したいと思い、投資を決めました。

### プロフェッショナルサッカー選手 本田圭佑

挑戦者、プロサッカー選手、起業家、投資家。サッカー選手として、イタリア名門 AC ミランでプレーし、日本代表では、2008年以降98試合出場・37得点を残した。また、過去3回のワールドカップに出場し、各大会にてゴールアシストを記録、世界で6人目、アジア人で最初のプレイヤーとなる。自身のマネジメント会社からスタートさせたビジネス面では、現在世界で70カ所以上の地域でサッカースクール・クラブを運営し、約4,000人の子供が汗をかいている。その他、インターナショナル保育園の運営、スポーツウェアラブルデバイスのマーケティング・販売などの事業を行っている。近年、これらの事業会社を束ねる持株会社 KSK Group を設立し、実質的経営者として経営に携わっている。2016年にはエンジェル投資を始め、KSK Angel Fund を設立、現在50以上のスタートアップに投資、2018年には、世界的俳優ウィル・スミスとのベンチャーキャピタルファンド「ドリーマーズファンド」を発表。アスリートという枠に囚われず、常に目的のために前に進む「挑戦者」。

### <playground 株式会社 代表取締役 伊藤圭史のコメント>



スポーツ・エンタメは人に夢と希望を与えるチカラを持ちます。playground は技術の力でスポーツ・エンタメのチカラに革新的な飛躍をもたらし、世界の幸せに貢献したいと考えて事業を展開してきました。本田圭佑氏の人生観は playground が志向しているチームカラーと非常に近いことから、創業前から勝手ながらいつか一緒にいたいと考えていました。今回の資本提携を起点に、彼が持つ業界への知見・経験と、弊社が持つ技術力・アイデアを組み合わせ、新規事業の創出や国内外における既存事業の推進、そして KSK グループの事業加速に貢献していきたいと考えています。

## 【playground 株式会社】

リアルイベント業界に特化した技術開発、コンサルティング・SI 事業を展開する総合エンターテック企業です。自社サービスの「Quick Ticket by MOALA」を起点とするコネクテッドスタジアムプラットフォーム「MOALA」ではライブ体験のデジタル化を通じて「ライブをもっとおもしろくする」取り組みを推進しています。「MOALA」の主力機能である「Quick Ticket by MOALA」は西武ライオンズやVリーグ、サンリオピューロランド等の大手企業に導入されており、電子チケットの新しいカタチを提供しています。今後も、リアルイベントデジタルの力で変革するべく、デジタル×リアルイベントの新しい挑戦を続けています。

- 社 名 : playground 株式会社 (playground Co., Ltd.)
- 代 表 者 : 代表取締役 伊藤 圭史
- 所 在 地 : 東京都渋谷区東 2-27-10 TBCビル 6F
- 設 立 : 2017 年 6 月 1 日
- 事 業 内 容 : コネクテッドスタジアムサービス「MOALA」の提供、  
コンサルティングサービスの提供
- U R L : <https://playground.live>

